

平成 25 年度 大阪府の一般廃棄物

大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課施設整備グループ

健康医療部環境衛生課水道・生活排水グループ

《 詳しくは大阪府ホームページに掲載しています。 <http://www.pref.osaka.lg.jp/shigenjuncan/recycle/osaka27.html> 》

平成 25 年度における大阪府の一般廃棄物（ごみ及びし尿）の排出及び処理状況等について、国が実施した調査結果をもとにとりまとめました。結果の概要をお知らせします。

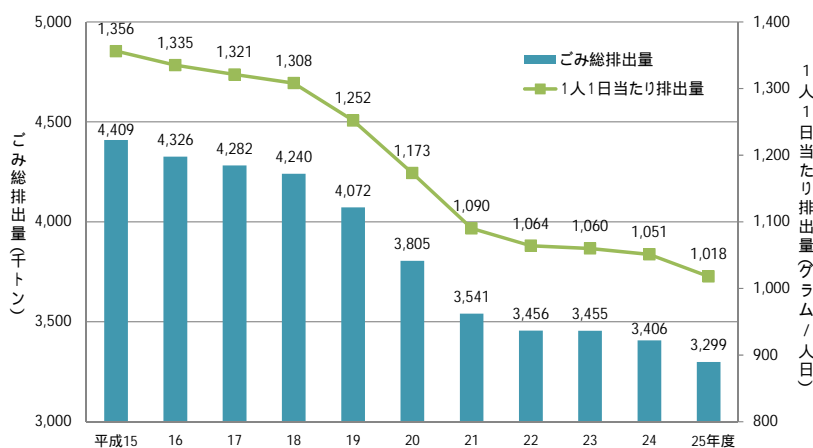
1 ごみ処理の概要

(1) ごみ排出の状況

大阪府のごみの総排出量（生活系ごみ＋事業系ごみ）は、329万9千トン（前年度比3.1%減）、府民1人1日当たりのごみ排出量は1,018グラム（同3.1%減）となりました。（図1）

なお、1人1日当たりのごみ総排出量は、事業系ごみの割合が高いため、全国で8番目に多くなっていますが、生活系ごみについては、全国で5番目に少なくなっています。

図1 ごみ総排出量の推移



(参考)

1人1日当たりのごみ排出量
(生活系ごみ) (g/人日)

1 沖縄県	536
2 京都府	564
3 広島県	580
4 熊本県	595
5 大阪府	600

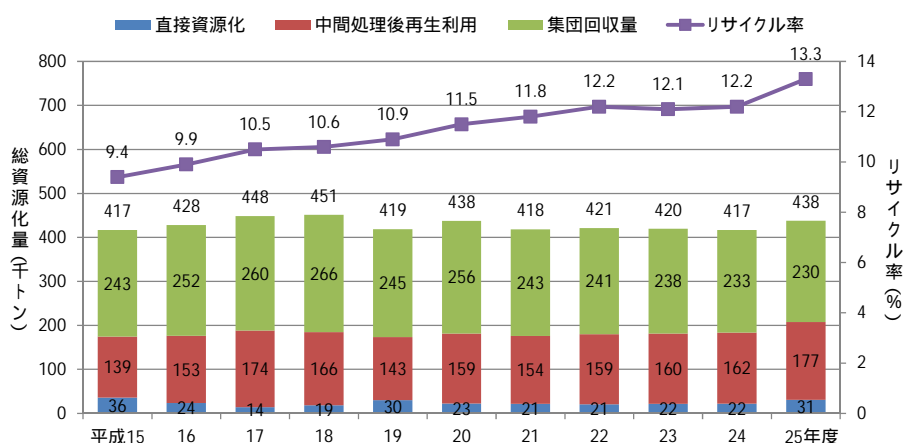
(環境省「一般廃棄物実態調査」より)

(2) ごみ処理の状況

大阪府のごみの最終処分量は42万6千トン（前年度比9.0%減）で、全国で最も多く、1人1日当たりの最終処分量は131グラム（同9.0%減）で、全国で7番目に多くなっています。

また、資源化されたごみの量は43万8千トン（同4.8%増）、リサイクル率は13.3%（同1.1%増）となりましたが、全国で2番目に低くなっています。（図2）

図2 総資源化量とリサイクル率の推移



(参考)

リサイクル率順位 (%)

1 三重県	30.1
2 山口県	29.5
3 岡山県	27.1
(全国)	20.6
45 和歌山県	13.6
46 大阪府	13.3
47 奈良県	13.1

(環境省「一般廃棄物実態調査」より)

(3) 府内の市町村の取組みベスト5 (リデュース・リサイクル・エネルギー回収)

	リデュース (1人1日当たりのごみ排出量)	リサイクル (リサイクル率)	エネルギー回収 (ごみ処理量当たりの発電電力量)
1	島本町 689 g/人日	豊能町 31.2%	泉北環境整備施設組合 泉北クリーンセンター 602kWh/トン
2	太子町 723 g/人日	河内長野市 24.1%	大阪市・八尾市・松原市環境施設組合 東淀工場 595kWh/トン
3	交野市 738 g/人日	茨木市 22.1%	堺市 クリーンセンター臨海工場 560kWh/トン
4	熊取町 772 g/人日	枚方市 21.8%	吹田市 資源循環エネルギーセンター 523kWh/トン
5	豊中市 840 g/人日	守口市 21.5%	大阪市・八尾市・松原市環境施設組合 舞洲工場 509kWh/トン

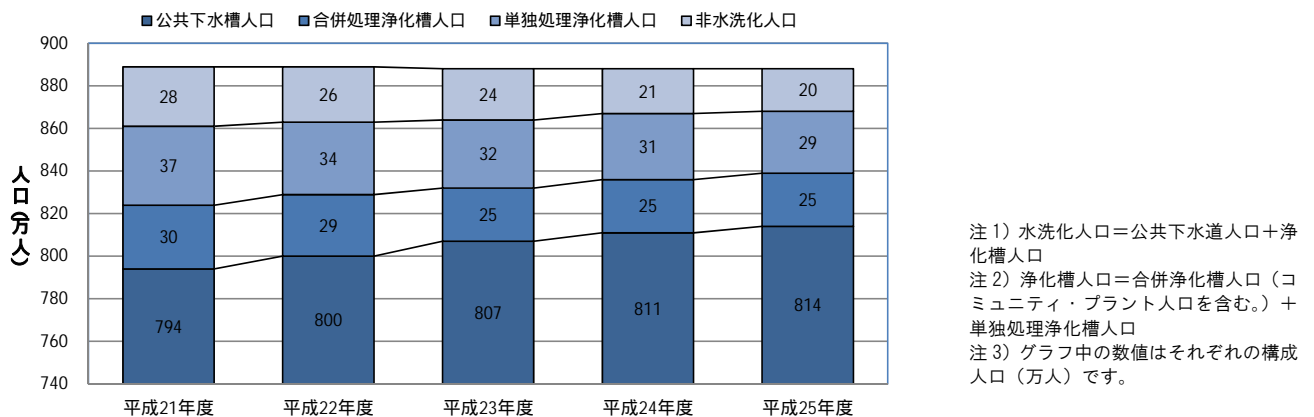
2 し尿処理の概要

(1) 水洗化の状況

大阪府の総人口 887 万人 (前年度 887 万人) のうち、水洗化人口^{注1)} は 867 万人 (構成比 97.8%)、前年度 866 万人 (同 97.6%) です。うち公共下水道人口が 814 万人 (同 91.8%)、前年度 811 万人 (同 91.4%)、浄化槽人口^{注2)} が 53 万 1 千人 (同 6.0%)、前年度 55 万 4 千人 (同 6.2%) となっています。

一方、非水洗化人口は 19 万 5 千人 (同 2.2%)、前年度 21 万 3 千人 (同 2.4%) と、公共下水道の整備により水洗化人口が増加し、非水洗化人口は減少する傾向にあります。(図3)。

図3 し尿処理形態の推移^{注3)}



(2) し尿の排出・処理状況

くみ取りし尿及び浄化槽汚泥の計画処理量は合計で 603 千 kL (前年度 624 千 kL) です。

それぞれの内訳は、くみ取りし尿の計画処理量は 317 千 kL、浄化槽汚泥の計画処理量は 286 千 kL となっています。(図4)

図4 くみ取りし尿及び浄化槽汚泥の処理内訳

